昭和三十年二月一日発行（毎月一日発行）
二六〇号　発行／黒埼町役場　〒九五七-二一　新潟県西蒲原郡黒埼町大野二六四一
電話／〇二五二-三八-三〇　編集／企画開発課（担当・広報統計係）　印刷／㈱旭光社　経費一部八円

人 37 八十年生きて囲碁が残った

谷金之助（たにきんのすけ）さん　八十歳　立仏三

囲碁用語に「長生（ながせい）」という言葉がある。谷金之助さんはまさにこの言葉どおりの人だ。現在八十歳。かって囲碁の県名人を争い、新潟日報に二十年囲碁観戦記をつづり、全国老人囲碁大会に県代表として出場した。

「今は時間つぶしに楽しんでいるだけ」。一週間に四日は友人宅で打つ。

「昔も楽しかったから打ってたんだろうな。やっぱり、人生楽しくなければね」。勝てばうれしい。負ければちょっぴり悔やしい。しかし、勝負は時の運。「今でも大会には出る。打つことが何より」

東京は神田の生まれ。「江戸っ子」である。碁を覚えたのは十八のころ。

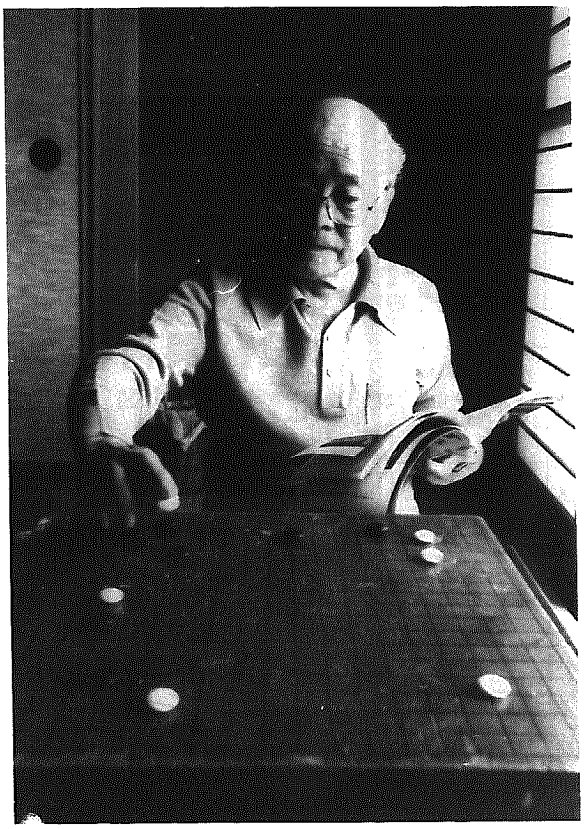
「みんなが打っているので見よう見まねで」。戦時中新潟へ疎開した。そのまま新潟に。「東京もいいけど新潟は住みやすい」。黒埼町に居をかまえ二十年。今は黒埼町碁友会の顧問で六段格である。

将棋もマージャンもできる。「インドアゲームはぜんぶ初段をとろうと思った」。五目並べは初段である。日報に連載したアマチュア囲碁観戦記のペンネームは三狂子（さんきょうし）という。三狂子の三は囲碁と将棋と五目並べである。「八十年生きてきて、最後に残ったのが碁かな。一つあれば十分でさあ」。

二十年も続けてきた連載をやめたのは五年前。「おもしろくなくなっちゃったんだ。だんだんだれでも書けるような記事になっちゃった」。「書いているときは真剣に打ったね。だって三狂子が下手に負けるわけにいかない」。「ギャンブルってのは気力。勝負強さが肝心だ。県名人戦は二一一で負けたんだけどね。そのころ仕事が忙しくてほとんど碁を打ってないのに、一局とれたんだからね。惜しいと思ってるのは全国老人囲碁大会。三年前、三回戦で負けちゃった。勝てたんだよね」。

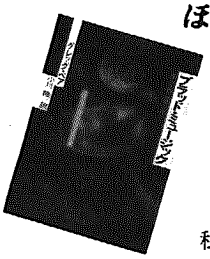
一気に巻き舌で話した。江戸っ子だねえ谷さん。そして若い。記憶力バッグン。勝負のこだわりが消えてない。天性のギャンブラーと見た。五目並べをしてみませんかと誘ったところ「やりましょう」。早速対局となった……二分三十秒後、谷さんの勝ち。「あんた、筋はいいよ」。そして、五目並べの定石と必勝法の教授となった。長生きの秘訣も教わったような気がした。

（五十嵐広報担当記）



「碁を覚えておいてよかった」という谷さん。「年をとると腕は落ちないのだが、勝負の気力がなくなる。最近はきつい対局はできないな」と言いながらも専門誌を読み研究に余念がない

ほんの一冊



ブラッド・ミュージック
（早川書房）
グレッグ・ベア
（小川隆訳）

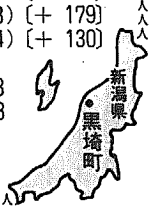
私たちの体をつくっている細胞の一つ一つが、それぞれ人間並みの知能を持ったら、そして勝手にふるまったらどうなるか。この小説では、バイオテクノロジーによってそうした存在が生み出されます。そのため、一種おぞましい病気がアメリカ全土に広がり、異様な光景が展開します。その中を、なぜか病気にもならず孤立してしまった人たちがさまようのですが、彼らに注ぐ作者の目は感傷的と言えるほど温かく、この小説を親しみやすいものにしています。バイオテクノロジーの危険性よりも、人類のこの宇宙での位置ということを考えさせられる小説です。　（紹介者：岩野満夫）

〈人の動き〉

3月末日現在（前月比）		前年同月比
人口	22,585（+19）	〔+ 395〕
男	11,106（+11）	〔+ 216〕
女	11,479（+ 8）	〔+ 179〕
世帯	5,883（+ 4）	〔+ 130〕

3月1日～末日

出生	33	転入	193
婚姻	14	転出	208
死亡	8		



広報で募集しています

★カットやイラストを描きたい人
★四コママンガを描きたい人
★インタビュアーやレポーターをしてみたい人
★簡単な英訳ができる人
★編集に興味を持っている人

どうぞ、お気軽に連絡ください。また、お知り合いを紹介してください。上手下手は問いません。広報紙づくりに皆さんのお力をお貸しください。薄謝ですがお礼致します。また、楽しい話題や頑張っている人もご紹介ください。

▼連絡先…役場企画開発課広報係
☎377-3101（内線46、52）

■来月号の表紙

先月号でも左記の「広報で募集しています」を掲載しました。発行後、すぐ数人のかたからカットと英訳の申し込みがありました。ありがとうございました。まだ、受け付けています。ちょっとでもご関心があれば連絡ください。会ってお話を聞かせていただくだけでもけっこうです。お知らせ版（四月十五日号）の発行が遅れてしまい、苦情の電話を頂きました。誠に申し訳ございません。おわび致します。

教育委員会が「黒埼町生涯教育推進基本構想をまとめましたので、**生涯教育**をテーマにしたいと思います。学校を卒業した後、何かを学んでいる、打ち込んでいる、考えている、何かは問いません。趣味でも仕事でもけっこうです。ご連絡ください。また、町会議員選挙が終わりましたので、**新議員に望む**ことも募集します。なお生涯教育は7月号になる場合もあります。